



遊香
ouka

実家の書道教室で6歳からはじめた書道を軸として、
水墨画、グラフィック、篆刻も…と表現したいことを
自分の手で作り出すことに喜びを感じてきました。

中でも、大学の授業で出会った「目に見えない妖怪」の世界。
彼らを墨で描き始めてから、私は世界で唯一の“妖怪書家”を名乗るようになりました。

作品に現代の風刺を込めることもあれば、墨を磨る静寂の中で
令和のスピードに抗うように時間の流れを緩めることもある。
目に見えない蠢く気配を、この手で確かに捉えたい。

日本の始まりの地・奈良から、まだ誰も見たことのない世界を紡ぎ出せたらと思います。



ARTWORK



作品の中心は「掛軸」です
全て逢香のオーダーメイドで
老舗の表具店に表装頂いています
海外の方にも内容が伝わるよう
英語を含めた表現もしています

ARTWORK

毎年 個展を
開催しています

主な個展

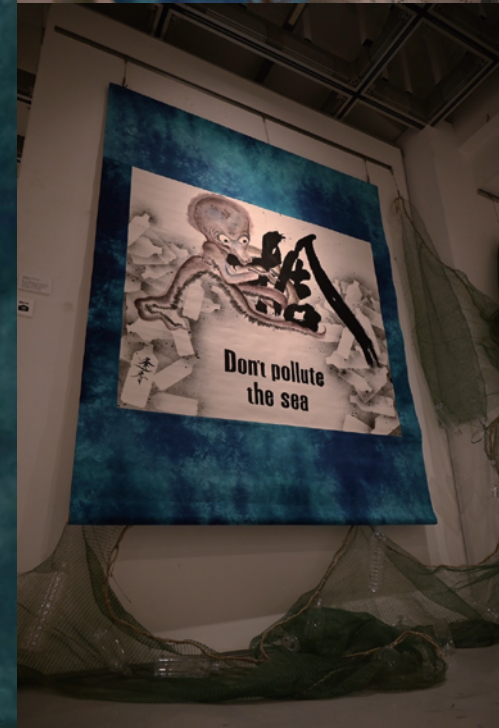
- 2020 大阪 岸和田城天守閣
- 2021 世界遺産 金峯山寺
- 2022 奈良市美術館
- 2023 安藤忠雄氏建築 日本橋の家
- 2024 世界遺産 東大寺
- 2025 近鉄百貨店 橿原店
- 2026 近鉄百貨店 奈良店

SOLO EXHIBITION



風刺作品において、
「環境」は1つのテーマです。
夥しいプラスチックゴミに
憤怒と深い切に暮れる
妖怪「大蛸」。
現代の歪みに対して
声を上げている姿でもあります。
展示空間には、
実際に海を漂流していた
魚網やペットボトルを
配置しました。
墨が描き出す怪異の世界と
現代社会のリアルを
作品に投影することで
私たちが目を背けがちな現実を
静かに浮かび上がらせています。

ARTWORK
environment



毎度、墨で描く巨大作品の
定型はありません
クライアントのイメージに
近づけた作品の制作を
心がけているので
その時々によって
共に新しい作品をつくりあげます
「書」「水墨画」どちらも描く
約10分間、目の前で完成させます

PERFORMANCE



電車のラッピングデザイン、
日本アニメ「妖怪ウォッチ」シリーズ
黒い妖怪ウォッチの
キャラクター/タイトルデザインや
お店の看板、商品の開発、
さらにはお寺に作品を
奉納するなど多岐にわたります

CLIENT WORK





ワークショップは
ご依頼があれば
随時開催しています
海外の方に教えることも

WORKSHOP



NHK奈良

「逢香の華やぐ大和」

初の冠コーナーです

放送開始から

6年になります

奈良県各地で取材をし

最後にはロケで

感じたことを一筆書き

作品を完成させます

TV



一般社団法人モノモン

障がい児の療育や児童福祉に妖怪画を活用する墨アートプロジェクト。子供らが描いた作品は、「モノクロモンスター」を略した「モノモン」。大阪府の特別支援学校高等部で書道教諭をしていた経験から、障害のある子供たちや支援の必要な子供が自ら墨で妖怪を描くことで、表現する喜びや感性を引き出しその作品を展示・販売するしくみ作りに取り組んでいます。

毎年、東大寺にてモノモン展を開催中。



website

SOCIAL ACTIVITIES



妖怪書家 / 書家 逢香 おうか

6歳から書道を学ぶ。奈良教育大学書道科に入学後、変体仮名の授業を受けたことをきっかけに個性豊かな妖怪たちに興味を持ち、奈良墨を使って描きはじめる。

2017年に妖怪ウォッチシリーズ「黒い妖怪ウォッチ」のキャラクターデザインとタイトルデザインを担当。2020年に開催された「橿原神宮 御鎮座百三十年記念大祭」を揮毫し、同年世界遺産の元興寺の絵馬のデザインを手掛けるなど寺社仏閣への奉納も行う。個展は毎年開催し、2024年は世界遺産 東大寺にて開催。2025年は書と水墨画を手掛ける近鉄けいはんな線のラッピング電車が大阪万博へ開通。また、墨で書くこと面白さを広く伝えるために一般社団法人 モノモンを設立。時代の逆を歩むことの魅力を発信している。

元 大阪府立高校書道教諭、奈良市観光大使、一般社団法人モノモン代表

NHK奈良「逢香の華やぐ大和」レギュラー出演中

Yokai Calligrapher / Calligrapher **Ouka**



I began studying calligraphy at the age of six, and when I was a university student majoring in calligraphy, I encountered yokai (class of supernatural monsters, spirits and demons in Japanese folklore) depicted in old books. Since then, I have continued to draw yokai along with calligraphy.

I use Nara sumi ink and draw on Japanese paper with a brush dipped in water. Sumi ink is a writing tool that has been used for 1400 years. Although we live in a digital age, I have been drawing with these ultimate analog tools since I was a child. I hold a solo exhibition every year and create a wide range of designs, including corporate logo designs and train wrapping designs.